

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和3年12月8実施)

	図書名等	聴き取り内容
1	<p>DAISY COMICS 淫魔G a 豆腐めんたる 令和3年11月30日発行</p>	<p>「ぷるん」は、性器は修整されているものの、形状が判別できる。内容は、青少年の成長に悪影響を与えるほどではない。「首輪ひとつ〜」は、直ちに青少年の健全な成長を阻害するおそれが必ずあるとは言い切れないが、その可能性を最大限考慮すると、成人向けとして販売するのもやむをえない。指定該当やむなし。</p> <p>コメディータッチのファンタジー作品集。暴力シーンや人格否定ととれる箇所はない。絵柄はコミカルで著しく性的感情をあおったり、卑わいさを助長しているようには見えない。性器をあえて描きこむ必要のないシーンでも性器を白く抜くことで認知させる箇所がある。全編大部分とは思えないが指定やむなし。</p> <p>BL短編集。全ての作品が相思相愛な上で展開している。多少強制的な部分も垣間見えるが、愛のあるプレイと理解する。男性器の修整が形状が分かる消し方で、その登場回数が青年レベルを超えていると感じる。指定やむなし。</p> <p>性器は消しているが、形が分かり、結合部を強調している部分も散見される。コミカルで卑わい感は薄まっているものの、性器修整の甘さと性器の描写が多いことから、指定該当。</p> <p>恋愛感情が基盤となっており人格否定や暴力表現は感じられない。ただ、性器が縞模様で修整されていて形状が分かり、体液描写も激しい箇所がある。「首輪〜」では、架空の設定とはいえ、薬物が使用されていて、感情が変化し性行為に及んでいる。指定該当。</p> <p>コミカルで明るく、性交シーン以外の描写も少なくない。卑わいと違うのではないかと。性器は消しているものの、形状が分かるものや大腿部を大きく開いて性器が中心に据えられているものも多く見られる。性器の輪郭が単純化、記号化されているので、それ自体で卑わい感はないもののその登場頻度が多い。擬音、体液描写も多く総合的に判断して指定該当。</p> <p>性交描写が主体で、性器の消しも甘い。最初の作品は、コミカルで卑わい感は少ないが、性交場面は多く、擬音や体液の描写も多い。最後の作品は支配、被支配の関係が露骨に出ていて不快な感じを与える。指定該当。</p> <p>人格否定や暴力的な場面はなく、擬音や体液の描写も多くはないが卑わい感是否定できない。性器の修整については、一定の配慮は感じられるが、形状が分かるものも見受けられる。全体を通して、性交シーンもそこまで多くはないが、総合的に判断して指定該当。</p> <p>性器の修整が甘いところがあり、性描写もあり指定やむなし。</p> <p>性器を線で修整しているものの形状が判然とし、擬音が多い。魔王と人間という設定ではあるものの人間=カラダが売りものである描写はカラダを売ってよいと誤認させることも考えられる。学校での行為は公然わいせつにあたるかと考える。指定該当やむなし。</p> <p>絵柄は軽妙であり、卑わいな感じはない。性交場面は特段多くなく、読後感もあっさりしている。性器については、白ヌキされるなど詳細に描いているわけではないものの、修整をしているという体で、形状を縁取りする場面も散見される。1コマ1コマ見ると、擬音と体液の描写が非常に多い。3本目の設定の不可思議さを含めて、総合的に判断して保留。</p> <p>全体的に内容はコミカルでそんなに卑わいな感じはしない。性器については、はっきり描かれてる訳でもなく、この程度であればそれほど問題はない。指定非該当。</p> <p>絵画表現とテーマが新しく評価に迷う。画面構成は軽く卑わい感はとても薄い。前半2作は分かりやすい恋愛で、人格否定が見られない。3話目もレイプ的なシーンはあるもののゲーム感覚を前提としており人格否定とまでは言えない。性器は、形状や質感のリアリティが丁寧に排除され高度に記号化されていて、露骨な性器描写とは言えない。指定非該当。</p> <p>暴力、人格否定に該当する描写は見受けられない。擬音、体液描写はやや多い印象があるが、性器の修整も白抜きで確実に施されている。本編の作品は画力はあるが、全体的に画がごちゃごちゃしている為、判別し辛い。よって卑わい感もさほど感じない。指定非該当。</p> <p>性器の消しは甘いものの、その形状がコミカルに描かれていて、リアリティが感じられなかった。ファンタジー的な擬音は必要以上にコマいっぱいに描かれていて、逆に卑わい感を消しているようにも感じられる。指定非該当。</p> <p>4話までは魔界の主人としもべのセックス遊び。ストーリーがよく分からない。顔、動作に現実性が感じられず、人格否定、卑わい感も全く感じない。5、6話は人間界の話で、セックス場面、体液、擬音描写も多く散見されるが、絵がコミカルなタッチなので卑わい感を感じられない。指定非該当。</p>